

一人は万人のため・・・ 万人は一人のため・・・

# 第53回 通常総代会 議案書

開催日時 2010年5月27日(木曜日) 午後6時～

開催場所 千葉大生協 第一食堂ホール

## 議案

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 第一号議案 | 2009年度活動の振り返りと決算承認の件  |
| 第二号議案 | 2010年度活動の方針と予算承認の件    |
| 第三号議案 | 2010年度役員報酬承認の件        |
| 第四号議案 | 大学生協共済連(仮称)への加入決議について |
| 第五号議案 | 議案決議効力発生の件            |
| 第六号議案 | 2010年度役員選出の件          |

千葉大学生生活協同組合

<http://chiba-u-coop.or.jp/>

## 目 次

1 .	はじめに	1
2 .	第一号議案 2009年度の振り返りと決算報告承認の件 2009年度決算について 損失金処分案 監査報告書	2
3 .	第二号議案 2010年度活動方針と事業経営予算承認の件 2010年度事業経営予算案と各店舗の課題	9 11
4 .	第三号議案 2010年度役員報酬承認の件	10
5 .	第四号議案 大学生協共済連合会（仮称）への加入決議について	13
6 .	第五号議案 議案決議発生の際	13
7 .	第六号議案 2010年度役員選挙の際	13
	総代会資料 2009年度事業報告書	14

## はじめに

2009 年は日本の議会制度の中で初めて選挙を通じて政権交代が行われました。特に「コンクリートから人へ」という予算の配分枠を一新させるということで多くの国民の期待の中で新政権が誕生しました。しかし「政治とカネ」の問題が払拭できず内閣の支持率が下降線を辿っています。また、1 昨年から始まった経済不況の回復が進まず、今年も大学生の就職事情は一段と厳しさが増えています。親元からのサポートやアルバイト先を失い勉学を継続できない状況に陥る学生も増加しています。

国立大学は法人化後、国庫からの運営交付金が年々減少し、大学の運営にも影響が現れつつあります。そして今年の 3 月に国立大学の個別評価が発表されその評価に応じた予算配分が行われ、大学間の競争に拍車をかけています。そうした中で大学が担わなければならない学生の福利厚生に対する予算は減少し、福利厚生を担当する事業者への負担を強いているところもあります。

千葉大生協は 2006 年から 2008 年にかけて大学関係者の協力を得て、福利厚生施設の改善を手がけてきました。また 2009 年は西千葉キャンパスにおける食堂事業の在り方を検討し大学にも提案してきました。

千葉大生協は組合員の要望に依拠し、組合員の生活を守りそして組合員に支持される大学生協でありたいと常に考えています。

具体的には、2008 年の総代会で確認した「第 7 期中期計画（2008 年から 2012 年）の課題を着実に実行し、学内福利厚生事業者として「組合員に貢献できる生協」、「大学に貢献できる生協」を目指します。

多くの総代の皆さんの参加で第 53 回通常総代会を成功させましょう。



第 52 回総代会の採決風景

# 第一号議案 2009 年度 活動の振り返り

第52回総代会で確認した2009年度活動方針の各項目に沿って、1年間の活動を振り返ります。

## 1. 学内の諸団体と連携し、全ての組合員の生活支援・勉学研究支援の充実を図ります。

- (1) 大学構成員のニーズに沿った組合員同士の交流企画を行います。
- (2) 教職員組合員交流活動の取り組みを強化します。店舗事業を充実させるとともに、営業時間の見直しやオンラインショッピングの拡大などを通じ組合員の利用条件を改善します。
- (3) 学内諸団体 (ISO・TFT 等) と連携し、組合員の視野を広げる活動を行います。

### 【おもな成果】

生協の学生委員会では組合員と接する企画を行い、組合員のニーズを実現してきました。

生協祭り (6 月) 大学祭企画 (11 月) 新学期  
新入生歓迎企画 (3-4 月)

大学祭ではフリーマーケット企画を行い、その収益金を  
(72,161 円) をユニセフに寄附しました。

教職員組合員懇談会を開催し、生協の活動紹介や意見・  
要望など集約し、生協への理解を深める活動を行った。

TFT の募金メニューは 5 月から開始し、3 月末までに  
1,769 食、35,380 円の募金を行いました。

TFT (テーブルフォー) とは、アフリカの子供たち  
へ給食支援の NPO 活動。

留学生との交流企画として「餅つき大会」を 12 月に開  
催しました。

読書サークル「ちば読」と協力して『辻村深月のトーク  
ショー』買いさし、多くの組合員が参加しました。

1 月のハイチ地震への支援募金活動を行い、日本赤十字  
社と通じて 24,352 円、ユニセフを通じて 22,094  
円を募金しました。

長崎の原爆被爆者を招いて『核兵器と平和を考える学習  
会』



留学生との餅つき交流会 (12 月)



ハイチ地震募金活動 (1 月)



TFT 募金の取り組み報告



辻村 深月トークショー (12 月)

## 2. 大学教育研究の充実・発展に向けて魅力的な大学づくりに貢献し、財政強化に協力します。

- (1) 大学の理念や目標の達成に協力できる事業分野に力を入れ、大学の魅力づくりに貢献します。
- (2) 大学と協力し、勉学研究サポート・就職活動サポートを強化します。
- (3) 大学業務のアウトソーシングの受け皿となり、大学業務の効率化に協力します。

### 【おもな成果】

新厚生会館の耐震工事計画に合わせて、西千葉キャンパスにおける食堂事業の総合提案を行いました。

大学のキャリア支援課と協力し「就活パワーアップセミナー」を開催しました。大学のけやき会館も使用して土曜日に開催しました。

生協の学生委員会では新入生も対象とした「ビジョンナビセミナー」を4月と就職活動サポートの「ビジョンナビセミナー」を11月に開催しました。

2011年度受験生向けの「大学案内」パンフレット作製に生協学生委員会が参加しました。



生協の就職支援セミナー



学生委員会主催のビジョンナビセミナー

## 3. 組合員の声を生かし、組合員と一緒に利用しやすく、親しみやすい店舗作りを行います。

- (1) 「一言カード」活動や店舗委員会活動を通じて、事業充実に向けたプロセスに参加できる運営を強化していきます。
- (2) 学生委員会と協力し「情報携帯サイト」を通じて店舗情報発信するとともに、組合員の意見集約ツールとしても活用します。
- (3) 千葉県特産物や学内で生産された物を活用したメニューやオリジナル商品を開発し、千葉大学の特色をアピールする。
- (4) 生協店舗のキャッシュレス化をすすめ、混雑緩和を図ります。

### 【おもな成果】

一言カードを集め、生協の各機関で検討してきました。回答は食堂等に掲示するとともに機関紙「WITH」に掲載しました。

生協のホームページの更新を店舗担当者が行うことにより、閲覧件数は年間で7万8千アクセスに(前年比48%アップ)になりました。

学生委員会がライフセンター前でブラックボード宣伝を行い、組合員にお勧め企画を案内しました。

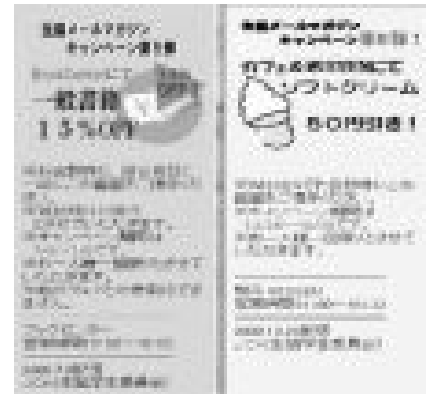


千葉大生協の新しいホームページ



ライフセンター前のブラックボード

大学生協が運営する「携帯サイト」に参加し、メールマガジン（店舗情報）の発信と店舗割引クーポンを定期的に発信し利用者還元を行った。アルバイト情報を掲示板に掲示するとともに、携帯電話で閲覧できるサイトが2年目をむかえました。参加業者は100社を超え、サイト登録者は約300人になりました。千葉大学のお土産として、大学の校友会と協同で『櫻の郷』、『やよい桜』を販売しました。



生協携帯サイトの割引クーポン

- 4. 環境にやさしい千葉大学の目標達成に向けて、大学と協力して実行します。**
- (1) 「レジ袋有料化」とリ・リパック弁当容器の回収率を高める取り組みをすすめます。
  - (2) ISO 学生委員会や学内のサークルと連携して、エコやフェアトレード商品を積極的に展開する。
  - (3) 『湾岸まるゴミ企画』を通じて学内美化運動を進めます。
  - (4) 店舗消費電力の5%削減に努めます。（省エネ型機器の採用、閉店時の照明カット）

**【おもな成果】**

リ・リパック弁当容器の回収率アップに向け、1月に「回収促進キャンペーン」を行いました。環境ISOと協力し、割り箸削減キャンペーンを10月から1月まで実施しました。この企画で162,280膳の割り箸を削減することが出来ました。各店舗では閉店後の照明機器節電に努めてきました。



レジぶー基金の収支報告（3キャンパス合計） 2009年3月～2月

前年度繰越金		378,360円
収入	レジ袋販売代（10,367枚）	51,835円
	マイ箸棟の販売代	128,900円
	生協からの拠出金	300,000円
収入合計		480,735円
支出	マイ箸キャンペーン補填分	162,280円
	マイ箸作成代	328,125円
	キャンパス美化費用（花苗代など）	63,762円
支出合計		554,167円
レジぶー基金残高		304,928円

### 5. 生協経営を健全にし、施設投資に耐えられる経営基盤を確立します

西千葉三食堂を効率的運営し、投資回収を早める。  
 西千葉食堂3店舗の事業剰余高を黒字化します。  
 ライフセンターを含めた3店舗（工学部店・総合校舎店）の効率的な運営を行います。  
 ライフセンターの品揃え棚構成の点検を行う。  
 今後の投資に向けて税引き前剰余高700万円を目指します。



生協が提案した「食堂事業」

### 2009年度の決算について

金額単位：万円

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	前年比
総供給高	221,645	220,770	222,562	208,175	14,387
供給剰余高	36,341	37,454	38,399	36,193	2,206
経費合計	36,641	37,955	39,432	38,056	1,376
事業剰余高	301	531	1,034	1,863	830
経常剰余高	899	493	335	1,359	1,024
出資金整理額等	732	768	733	741	8
特別損失（寄附等）	200	2,211	948	47	900
税引き前剰余高	1,431	950	550	665	115
法人税等	979	438	45	30	16
当期剰余高	452	1,388	595	694	100

#### 決算概況

##### 1) 供給高と供給剰余高

年間総供給高は20億8,175万円（前年比 6.5%：予算比 6.7%）

新学期の学長推奨パソコンの未達成、

国内旅行の利用点数減と海外旅行も利用単価減少などで旅行分野の利用が前年比 15.4%

教科書の利用点数は増加しましたが、1点当りの単価が減少し、前年実績未達成でした。

スタディーガイドは高額スクールが減少し、通学制教習所の利用減少（TC、BC）

西千葉の2食堂の年間利用客数は約28万人で前年比 6.0%

供給剰余高は 3 億 6,193 万円 (前年比 5.7% : 予算比 6.0%)

学長パソコンの残数処理で供給剰余率が低下しました。

食堂では食材費のアップと供給構成比の変化で供給剰余率は低下しました。

店舗の商品管理は多少改善されたが、店舗によるバラつきがあった。

経費合計 3 億 8,056 万円 (前年比 1,376 円 : 予算比 2.9%)

人件費 2 億 2,289 万円 (前年比 327 万円 : 予算比 4.5%)

正規職員の移籍と欠員、一時金の削減、福利厚生費の削減

物件費 1 億 1,188 万円 (前年比 394 万円 : 予算比 1.1%)

減価償却費の減少 (450 万円)

賃借費 新業務端末の入れ替えに伴う減少

通信費 新業務端末の入れ替えに伴うインフラ整備などの増加

事業剰余高 1,863 万円

事業剰余マイナス店舗

第一食堂	455 万円	(前年	317 万円)
喫茶	213 万円	(前年	146 万円)
カフェ食堂	217 万円	(前年	116 万円)
園芸 S B	66 万円	(前年	88 万円)
亥鼻 S	657 万円	(前年	584 万円)
総合校舎	268 万円	(前年	430 万円)

事業外損益 698 万円

受取利息、保険広報事務戻し

就職セミナー広報活動、企業広告戻し など

特別収入 出資金繰入

711 万円 (未返還出資金の利益繰入)

固定資産売却益

12 万円

特別損失 固定資産除却損

35 万円 (食堂備品の処分)

## 2009 年度損失金処理(案)について

2010 年 5 月 27 日

(金額単位 : 円)

1. 当期末処分欠損金		<u>6,939,264</u>
2. 欠損金処理額		
(1) 任意積立金取崩額	<u>6,939,264</u>	<u>6,939,264</u>
3. 次期繰越欠損金		<u>0</u>

上記のとおり当期欠損金の処理を提案いたします。

千葉大学生協生活協同組合  
理事長 佐藤 和夫



2010年5月27日

## 監査報告書

千葉大学生生活協同組合  
理事長 佐藤 和夫殿

監事 田中 健夫  
三角 龍馬  
高橋 進一郎  
渡辺 恭祐  
古屋 涼子

千葉大学生生活協同組合定款37条に基づき、2009年度(2009年3月1日~2010年2月28日)の会計並びに業務実行状況を監査した結果を下記の通りに報告します。

### 記

1. 監査 期日 2010年3月31日

2. 監査基準日 2010年2月28日

#### 3. 監査 方法

会計監査については、公認会計士の補助を得、決算書類の審査・質問などの方法を用いて調査した。組織・業務・経営などの業務執行状況の監査については、理事会より報告を受け、その他としては理事会への出席などの方法を用いて調査した。

#### 4. 監査の結果

- (1) 貸借対照表および損益計算書は生協会計基準と合致し、千葉大学生生活協同組合への財産および損益状況を正しく示しており、特に指摘する事項はない。
- (2) 対外関係書類、証書類は適正に処理されている。
- (3) 環境に優しい大学をアピールする活動として、レジ袋の削減やリリパックの回収率アップのキャンペーンが行われた。また、ISO学生委員と協力し、生協店舗では「マイはしキャンペーン」も行われた。
- (4) 生協学生委員と協力して「メールマガジン」を発信することによって店舗情報の発信を強化することができたと思われる。また、「メールマガジン」による特典をつけることにより生協店舗のアピールに繋がったと思われる。

## 第二号議案 2010年度活動方針と予算案

### 1. 学内の諸団体と連携し、全ての組合員の生活支援。勉学研究支援の充実を図ります。

- (1) 大学構成員のニーズに沿った組合員同士の交流企画を行います。
- (2) 店舗事業を充実させるとともに、オンラインショッピングの拡大など通じて組合員の利用条件を改善します。
- (3) 学内諸団体と連携し、組合員の視野を広げる活動を行います。
- (4) 教職員組合員交流活動の取り組みを強化します。

### 2. 大学教育研究の充実・発展に向けて魅力的な大学づくりに貢献します。

- (1) 魅力ある大学作りのために、組合員の声を基に大学へ提言します。
- (2) 大学の理念や目標の達成に協力できる事業分野に力を入れ、大学の魅力づくりに貢献します。
- (3) 大学と協力し、勉学研究サポート・就職活動サポートを強化します。
- (4) 大学業務のアウトソーシングの受け皿となり、大学業務の効率化に協力します。

### 3. 組合員の声を生かし、組合員と一緒に利用しやすく、親しみやすい店舗作りを行います。

- (1) 「一現カード」活動や店舗委員会活動を通じて、事業充実に向けたプロセスに参加できる運営を強化していきます。
- (2) 学生委員会と協力し「携帯情報サイト」のコンテンツを見直し、組合員の意見集約のツールとして活用します。
- (3) 大学の特色を生かしたオリジナル商品を大学関係者や組合員と開発し、千葉大学をアピールします。
- (4) 西千葉キャンパスの食堂施設のトータル提案を大学に行い、組合員の利用環境改善につなげます。

### 4. 環境にやさしい千葉大学の目標達成に向けて、大学と協力して実行します。

- (1) 「レジ袋有料化」とリ・リパック弁当容器の回収率を高める取り組みを進めます。
- (2) ISO学生委員会や学内のサークルと連携して、エコやフェアトレード商品を積極的に展開します。
- (3) 店舗消費電力の5%削減に努めます。(省エネ型機器の採用、閉店時の照明カット)

### 5. 生協経営を健全にし、施設投資に耐えられる経営基盤を確立します。

- (1) 西千葉食堂3店舗を効率的に運営し、店舗の事業剰余を改善します。
- (2) 業務システムの更新に伴う作業見直しを行い、効率の良い店舗運営を目指します。
- (3) 今後の投資に向けて事業剰余高を改善します。

## 2010年度事業経営予算案

(金額単位：万円)

	07年度実績	08年度実績	09年度実績	10年度予算	前年対比
総供給高	220,770	222,562	208,175	207,707	0.4%
供給 剰余高	37,454	38,398	36,193	36,917	2.2%
分 担 費	5,124	5,234	4,579	4,967	18.8%
人 件 費	21,819	22,616	22,289	22,353	1.2%
物 件 費	11,043	11,582	11,189	10,297	7.4%
事業剰余高	531	1,034	1,863	700	61.4%
経常剰余高	493	335	1,360	0	

店舗ごとの予算案は 添付の資料をご覧ください

### 2010 度の店舗課題

店 舗	2010年店舗の重点課題
ライフセンター 工学部店舗 総合校舎店舗	新学期商材の提案改善とパソコンの完売 食品分野の企画強化(学生委員会との連携) マーク商品の拡大(大学広報、校友会との連携) 業務システムの活用と作業改善
ブックセンター	教科書販売(早期購入、まとめ買い購入のメリット、教科書リスト配信) 教員向けネット利用の拡大 読書サークル、企画への支援、読書マラソンの拡大 店舗在庫(専門書)の見直し、文庫新書、語学教育、就職活動支援
トラベルセンター	サークル活動などの「仲間づくり」への支援 店舗キャンペーンの工夫(教習所、海外旅行、斡旋商品) 日常作業の研修とコストコントロール
西千葉食堂店舗	メニュー編成の見直し(価格ラインの整備) ピュッフェメニューの改善 企画メニューの宣伝方法、組合員参加企画(丼メニューバトル) パートシフトの見直し
松 戸 店 舗	組合員参加企画(お菓子バトルなど) 読書コメントマラソンと専門書の見直し 食堂メニュー構成の見直し パート職員の育成(新システムの活用)
亥 鼻 店 舗	実習器具の共同購入の維持と専門書、国師コーナーへのアンケート実施 インターネット利用の情宣 パート体制の安定、スキルアップ
本 部	加入、共済の加入率アップ 住まいシステムの利用条件改善

## 第三号議案 2010 年度役員報酬承認の件

昨年度の消費生活協同組合法の改定や施行規則の改定及び当生協の定款改定に伴い、生協の役員(理事・監事)に対する年間報酬総額を総代会で承認するようになりました。

2009 年度までの実績に応じて年間報酬額を提案します。

1) 役員の年間報酬については、下記の総額の範囲とし、その範囲内における各役員の報酬額、支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねます。

理事(30名)の報酬額	総額 965 万円
監事(5名)の報酬額	総額 15 万円

## 第四号議案 大学生協共済連合会（仮称）への加入決議の件

### 【共済連合会設立の経過と加入の理由】

現在、組合員の皆さんが加入している学生総合共済は、全国大学生生活協同組合連合会が元受団体となっている共済事業です。

しかしながら、2008年4月に施行された消費生活協同組合法により、全国大学生生活協同組合連合会では共済事業を続けることができなくなりました。

従って、今後も共済事業を継続するために、法律の定めに従い、全国の大学生協とともに、共済事業専門の連合会（大学生協共済連合会：仮称）を設立することとしました。

千葉大学生協もこの共済連合会の設立に賛同し、設立の際には出資金を納めて加入することとします。

なお、共済連合会は全国大学生生活協同組合連合会の共済事業をそのまま引き継ぐことになり、学生総合共済の保障内容や掛金等の制度に変更ありません。

### 【共済連合会設立時期と出資要請額】

共済連合会の設立時期は2010年6月を予定しています。共済連合会設立のためには最低10億円の出資が必要です（生協法第54条の2の第2項）。全国の生協で拠出しあいますが、設立発起人会から出資額の要請として590万円です。この出資金は連合会に預けるものなので当生協の損益上には影響いたしません。

## 第五号議案 議案決議効力発生の件

総代会終了後、議事録を作成し監督官庁や法務局等に提出する際

各号の決議の本旨に反しない範囲で字句の修正を理事会に一任していただくことを提案します。

## 第六号議案 2010年度役員選挙の件

役員定数	理事	30名
	監事	5名

役員選挙は総代会当日に行います。

千葉大学生生活協同組合  
第53回 総代会  
役員選挙管理委員会

## 資料1 2010年度 事業経営予算(案)

(金額単位:千円)

勘定科目	2009年実績	2010年予算	昨年比	備考
1 総供給高	2,081,754	2,077,070	-0.2	組合員の生協利用高(総額)
2 値引高	32,695	33,110	1.3	書籍の割引高
3 供給剰余高	347,194	350,170	0.9	供給高-仕入高
4 利用収入	11,448	13,500	17.9	入学・卒業イベント、すまい紹介及びアルバイト紹介手数料
5 共済収入	3,288	5,500	67.3	学生総合共済の手数料
6 収入合計	361,930	369,170	2.0	(供給剰余高+利用収入+共済収入)
7 一般分担費	16,152	19,600	21.3	
8 業務分担費	29,638	30,070	1.5	
9 分担費合計	45,790	49,670	8.5	東京事業連合への業務委託費
10 役員報酬	9,224	9,800	6.2	常勤及び非常勤役員への手当
11 職員給与	66,688	73,990	10.9	正規職員の給与と賞与
12 定時職員給与	114,127	109,110	-4.4	パート職員の給与と交通費
13 退職給与繰入	12,141	21,130	74.0	役職員の退職給与支給および引当金額
14 福利厚生費	20,709	9,500	-54.1	職員の社会保険料事業主負担分、Eホームなど福利厚生費
15 人件費計	222,889	223,530	0.3	
16 消耗品費	26,257	23,300	-11.3	包装資材、ゴミ処理費、食器補充、コピー代など
17 減価償却費	19,838	14,610	-26.4	店舗備品など固定資産の今年度償却分
18 水道光熱費	19,774	18,590	-6.0	ガス、上下水道、電気、冷暖房費など
19 通信交通費	7,607	9,760	28.3	電話代、交通費、FAX代など
20 車両運搬費	2,962	3,180	7.4	家配料金、運送代、ガソリン代など
21 広報費	3,460	3,300	-4.6	店舗のパンフレットなど
22 賃借料	8,531	7,390	-13.4	U-Line等の端末使用料、新学期プレハブ費用等
23 会議費	827	770	-6.9	総代会、理事会、職場会議など生協が主催する会議の費用
24 調査研究費	970	370	-61.9	外部セミナー、他生協見学参加のための費用
25 教育文化費	6,733	6,300	-6.4	組合員向けの広報宣伝物や諸企画の費用
26 貸倒引当繰入金	0	0	----	販売した代金を回収できない状況に備えるお金
27 渉外費	10	0	----	生協外との打ち合せの費用
28 諸会費	6,885	6,800	-1.2	大学生協連、県生協連、旅行業協会など
29 租税公課	325	710	118.5	印紙税など
30 採用費	996	1,000	0.4	パート職員等の募集広告料
31 委託料	2,992	3,390	13.3	公認会計士、社会保険労務士などへの顧問料
32 保険料	913	900	-1.4	店舗の火災・盗難保険、現金動産保険、PL保険
33 雑費	2,805	2,600	-7.3	振込手数料その他
34 物件費計	111,885	102,970	-8.0	
35 経費計	380,564	376,170	-1.2	(分担費+人件費+物件費)
36 事業剰余高	-18,634	-7,000	----	(収入合計-経費計)
37 受取利息	1,786	2,500	40.0	銀行預金利息、連合預け金利息
38 雑収入	3,769	4,500	19.4	Tuoカード利用収入、企業広告収入など
39 事業外収益計	5,555	7,000	26.0	
40 支払利息	0	0	----	借入金の利息
41 雑損失	511	0	-100.0	デッドストックの処理、レジ誤差など
42 事業外費用計	511	0	-100.0	
43 経常剰余	-13,590	0	-100.0	(事業剰余高+事業外収益-事業外費用)
44 特別利益	7,413	0	----	「引当金洗い直し」の取り崩し益や出資金整理額
45 特別損失	472	0	----	固定資産を廃棄、売却した際の帳簿価格との差額
46 税引前剰余	-6,649	0	-100.0	(経常剰余+特別利益-特別損失)
47 法人税等	310	0	----	法人税、事業税、市町村民税など
48 当期剰余	-6,959	0	-100.0	(税引き前剰余-法人税等)
49 値引き率	1.57	1.59	1.5	(値引高÷総供給高)
50 GP率	16.68	16.86	1.1	(供給剰余高÷総供給高)
51 分担費率	2.20	2.39	8.7	(分担費÷総供給高)
52 人件費率	10.71	10.76	0.5	(人件費計÷総供給高)
53 物件費率	5.37	4.96	-7.8	(物件費計÷総供給高)
54 事業剰余率	-0.90	-0.34	-62.3	(事業剰余高÷総供給高)
55 正規人数	13.6	14.0	2.9	人数。端数があるのは年度途中の異動のため
56 パートH	128,490	122,038	-5.0	年間のパート労働時間数
57 総人員	77.8	75.0	-3.6	正規換算人数(パート時間から割り出す人員数)
58 労働生産性	4,649	4,921	5.8	正規換算一人あたりの剰余高
59 労働分配率	61.58	60.55	-1.7	剰余高に占める人件費率

# 2010年度店舗別予算数値

(金額単位：千円)

	ブックC	ライフC	トラベルC	工学部S	総合校舎	第一D	カフェD	喫茶	自販機	園芸S	園芸D	亥鼻S	本部	合計
総供給高	405,940	641,000	580,510	57,840	37,510	59,610	70,700	3,650	20,230	99,300	30,670	70,110		2,077,070
供給剰余高	55,020	109,800	46,840	14,350	10,070	29,970	35,790	1,940	4,860	15,540	14,600	11,390		350,170
利用収入													13,500	13,500
共済収入													5,500	5,500
総剰余高	55,020	109,800	46,840	14,350	10,070	29,970	35,790	1,940	4,860	15,540	14,600	11,390	19,000	369,170
一般分担費													19,600	19,600
業務分担費	2,060	13,500	5,600	1,730	1,180	910	1,070	60	580	1,730	450	1,200		30,070
分担費計	2,060	13,500	5,600	1,730	1,180	910	1,070	60	580	1,730	450	1,200	19,600	49,670
役員報酬													9,800	9,800
職員給与	13,540	23,270	10,440			7,000	3,740			6,780		6,500	2,720	73,990
定時職員給与	14,510	23,600	5,140	5,860	3,850	13,870	16,700	2,480	1,530	2,690	7,970	3,240	7,670	109,110
福利厚生費	2,730	5,000	2,140	0	0	1,560	970	10	20	1,350	530	1,320	5,500	21,130
退職引当													9,500	9,500
人件費計	30,780	51,870	17,720	5,860	3,850	22,430	21,410	2,490	1,550	10,820	8,500	11,060	35,190	223,530
消耗品費	2,450	4,600	1,400	740	780	3,360	3,200	210	290	750	1,900	620	3,000	23,300
減価償却費	760	2,200	610	1,060	2,600	1,000	3,360	10		300	80	1,620	1,010	14,610
水道光熱費	790	2,400	280	570	600	4,790	4,840	670	720	540	1,550	470	370	18,590
通信交通費	1,870	1,500	1,410	740	730	240	300	30		630	200	900	1,210	9,760
車両運搬費	220	1,740	260							30		130	800	3,180
広報費	200	1,240	180			30	40			30		40	1,540	3,300
賃借料	3,060	360	2,250			120				0		0	1,600	7,390
会議費	50					80	80					10	550	770
調査研究費		20	90									10	250	370
教育文化費													6,300	6,300
貸倒引当														0
渉外費														0
諸会費													6,800	6,800
租税公課	300	10	290							60		20	30	710
採用費													1,000	1,000
委託料	350	360		90	90								2,500	3,390
保険料													900	900
雑費													2,600	2,600
物件費計	10,050	14,430	6,770	3,200	4,800	9,620	11,820	920	1,010	2,340	3,730	3,820	30,460	102,970
経費合計	42,890	79,800	30,090	10,790	9,830	32,960	34,300	3,470	3,140	14,890	12,680	16,080	85,250	376,170
事業剰余高	12,130	30,000	16,750	3,560	240	-2,990	1,490	-1,530	1,720	650	1,920	-4,690	-66,250	-7,000
受取利息													2,500	2,500
雑収入													4,500	4,500
事業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,000	7,000
支払利息														0
雑損失														0
事業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常剰余	12,130	30,000	16,750	3,560	240	-2,990	1,490	-1,530	1,720	650	1,920	-4,690	-59,250	0
供給剰余率	13.6%	17.1%	8.1%	24.8%	26.8%	50.3%	50.6%	53.2%	24.0%	15.6%	47.6%	16.2%		17.8%
人件費率	7.6%	8.1%	3.1%	10.1%	10.3%	37.6%	30.3%	68.2%	7.7%	10.9%	27.7%	15.8%		10.8%
物件費率	2.5%	2.3%	1.2%	5.5%	12.8%	16.1%	16.7%	25.2%	5.0%	2.4%	12.2%	5.4%		5.0%
事業剰余率	3.0%	4.7%	2.9%	6.2%	0.6%	-5.0%	2.1%	-41.9%	8.5%	0.7%	6.3%	-6.7%		-0.3%
正規人員	3.0	5.0	2.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	15.0
パート時間	16,454	27,000	5,920	6,650	4,600	15,250	18,150	2,490	1,530	3,200	8,350	3,794	8,650	122,038
総人員	11.2	18.5	5.0	3.3	2.3	8.6	10.1	1.2	0.8	2.6	4.2	2.9	5.3	76.0
労働生産性	4,901	5,935	9,444	4,316	4,378	3,475	3,552	1,558	6,353	5,977	3,497	3,932	3,568	4,856
労働分配率	55.9%	47.2%	37.8%	40.8%	38.2%	74.8%	59.8%	128.4%	31.9%	69.6%	58.2%	97.1%	185.2%	60.5%